



# モジュール14. 社会的ケア

---

教育時期: 1) 2年目中期  
2) 3年目中期

教育方法: 1)～2) 講義・ケースカンファレンス・自習



## 14-1)ライフサイクルと発達課題

---

### ■ 目的

ライフサイクルからみた患者と家族の発達課題を理解する。

### ■ 大項目

(1)ライフサイクルと発達課題



## 14)-1)ライフサイクルと発達課題

---

### ■ ライフサイクルと発達課題

- ・ライフサイクルの観点
- ・発達課題

Hvighurst(1943): 発達段階を乳・幼児期から老年期までの6段階に区分、それぞれの段階における課題を幅広い視点から列挙した。

Erikson(1956): 人格の発達には8つの段階があり、各発達段階には、その時期に特に表面化する心理社会的危機が存在し、その危機を乗り越えることで次の発達の基礎を築いてゆく。



# 評価

---

- ライフサイクルに特徴づけられる患者・家族の社会的な苦痛を考察することができる。



## 14-2) MSWとの連携

---

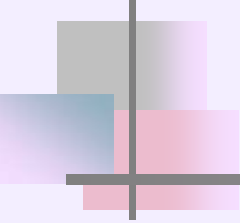
### ■ 目的

患者の社会的ニーズとMSWの働き、社会資源の活用について理解する。

### ■ 大項目

(1) がん患者と家族の社会的ニーズ

(2) MSWの働き



## 14-2)-(1) がん患者の社会的ニーズ

---

### ■ がん患者と家族の社会的ニーズ

- ・診断・治療、介護、家事、育児、住居・療養環境、経済的安定、職業・学業、家庭の安定、家庭の人間関係の安定、社会参加、交友関係、遺言、葬儀など



## 14-2)-(2) MSWとの連携

---

- MSWの働き
  1. 経済的問題の解決や調整援助
  2. 療養中の心理・社会的問題の解決・調整・援助
  3. 受診・療養援助
  4. 退院(社会復帰援助)
  5. 地域活動
- 各施設のMSWの働きを理解し必要時に連絡を取り合う。



## 14-2)-(3) 社会資源の活用

### ■ 社会資源の活用

1. 受診前、初診時：医療に関する情報収集、医療機関の選択と決定、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン
2. 外来フォロー中および入院中：医療費、生活費の確保、家事・育児などの遂行、介護者の確保、通院手段の確保、就職や職業継続、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、ピアサポート
3. 退院計画プログラム：必要な医療の継続、関係機関の選定、療養環境整備、転院
4. 終末期：遺言、葬儀、相続、ホスピス、緩和ケアの情報収集、機関選択  
遺族ケア



# 評価

---

- 患者の社会的ニーズを把握し、MSWと連携することができる。